

WE LOVE とよた『とよた元気プロジェクト』について

〔背景〕

米国に端を発した世界同時不況により、豊田市の基幹を成す産業も大きな打撃を受け、市域全体が重苦しい状況にあります。このようなムードを払拭するため、豊田商工会議所が中心になって、市民・行政・経済界が一体となった市民マインドの向上に繋がるプロジェクト「とよた元気プロジェクト」が発足しました。

〔概要〕

1. プロジェクト名 「とよた元気プロジェクト」

2. 目的

景気の悪化に伴う沈滞ムードを市民意識の高揚を図ることとで一掃し、地産地消の推進、消費喚起による地域経済の活力の向上を図ります。

3. 実施期間

平成21年3月～9月末(予定)

4. 実施内容

- (1) 市民意識の高揚(パンフレットやチラシへのロゴマーク掲載)
- (2) 行事・イベント等による市内外に向けた豊田市の魅力発信
- (3) 地産地消や消費喚起運動
- (4) 市長・議長・会議所会頭・JA組合長などによるトップセールス



ロゴマークのイメージ

市民マインドの高揚を表す赤を円に、その円からはみ出る「WE LOVE とよた」の文字は、自分のまちを愛する気持ちをエネルギーに棒を飛び出す元気を表しています。また、文字の傾きは、右肩上がりの経済回復を表しています。

5. 実施主体

とよた元気プロジェクト実行委員会 委員長 渡辺祥二(豊田商工会議所 会頭)
(事務局 豊田商工会議所)

6. 構成団体【3月6日時点】※今後賛同いただける団体を追加します

- ・豊田商工会議所青年部 ・社団法人豊田青年会議所 ・学生によるまちづくりの会
- ・豊田市消費者グループ連絡会 ・豊田商工会議所女性会 ・とよた下町おかみさん会
- ・あいち豊田農業協同組合 ・(協)豊田市商店街連盟 ・豊田市中心市街地まちなか宣伝会議
- ・連合愛知豊田地域協議会 ・(株)豊田スタジアム ・豊田まちづくり(株)
- ・市内商工会 ・市内観光協会
- ・豊田市(産業部商業観光課) ・豊田市観光協会 ・豊田商工会議所

7. 今後の展開

現時点で連携が想定される行事は以下のとおりです。今後、広く市民、経済界、市各課に連携可能な行事を募り拡大を図ります。

開催月	行事・イベント名	実施主体
3月	まちパワーフェスタ(春)	豊田市中心市街地まちなか宣伝会議
4月	プレミアム商品券販売	(協)豊田市商店街連盟
5月	ふれ愛フェスタ	ふれ愛フェスタ実行委員会
6月	マイタウンおいでん	各マイタウン実行委員会
7月	おいでんファイナル、花火大会	豊田おいでんまつり実行委員会
9月	産業フェスタ	産業フェスタ実行委員会

進捗状況



市内消費喚起！地産地消！で豊田を元気に 合い言葉は「WE LOVE とよた」

とよた元気プロジェクト 推進中！

世界同時不況による重苦しい雰囲気を一掃し、市民の消費意識を喚起することを目的に「とよた元気プロジェクト」が3月に発足しました。以降、関係団体企業と連携する中で、自動車をはじめ地元産品の購入や市内消費に繋がる企画を展開しています。

発足から21年5月までの動き

1. 第1弾「トップセールスPR」

(3/21,22 まちパワーフェスタ会場)

プロジェクトの第一弾事業として、3月21日(土)、22日(日)の両日、豊田市駅周辺において渡辺会議所会頭、鈴木豊田市長らによる「トップセールスPR」を行い地域活性化への意気込みをアピールしました。



2. 低公害車普及促進のための市補助金の増設の要望 (4/10 豊田市南庁舎)

地域経済の活性化、低炭素社会の実現をめざす環境モデル都市推進の取組みをさらに加速させるため

1. 低公害車普及促進事業補助金の支給条件緩和(排気量制限の廃止)
2. 法人向け低公害車普及促進事業補助金の創設
3. 低公害車普及促進事業補助金平成21年度予算の増額を豊田市に要望しました。



豊田市はこの要望を受け4月30日に追加経済対策を発表

1. 低公害車購入補助金 個人使用目的予算 5400万円→1億3800万円(450台分→1150台分)
2. 法人向け補助金制度創設 6000万円(500台分)

3. 名古屋「内需拡大」事業での先進事例発表

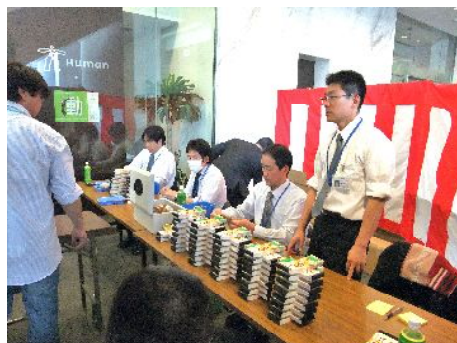
(4/17 名古屋商工会議所)

神田知事、松原名古屋市長、岡田名商会頭が発起人となり愛知・名古屋「内需拡大」会議が発足。席上、先進事例として当プロジェクトの取り組みが河木副会頭より発表され、多くの報道関係者が集まる中で情報発信をすることができました。



4. 第2弾 ひまわり商品券の販売 主催:豊田市商店街連盟 (4/19 市内14箇所)

発行総額5億5千万円で10%のプレミア付商品券(名称「ひまわり商品券」)を市内14箇所所で4月19日(日)に一斉発売し即日完売した。第二弾事業として位置付けられ、商品券、チラシ、ポスターや販売ブースでとよた元気プロジェクトをアピールし消費喚起を促しました。



5. 大懸垂幕、看板設置によるプロジェクトの啓発

主催：豊田市まちなか宣伝会議

ひまわり商品券販売に合わせプロジェクトを応援する大懸垂幕を作成。中心市街地のビル4箇所に設置し来街者に「元気なとよた」と消費喚起をアピールしています。

主催：豊田スタジアム

ランドマーク「豊田スタジアム」では正面ゲートと北側に巨大看板を設置し応援いただいている。スタジアムの来場者のみならず、豊田大橋やR301号線からも目立つため啓発効果は大。



6. とよた緑化まつりでの展開 (4/23,24,25 豊田スタジアム、中心市街地サテライト会場)

春の風物詩として多くの市民で賑わう当イベントには、花苗や農産物が販売され、当プロジェクトとしては豊田の産品を強くアピールするとともに、トヨタ車の展示販売を展開。場内をのぼり、横断幕を随所に掲げ、多くの来場者への意識啓発を行いました。



7. 第3弾 「ふれ愛フェスタ」での展開 (5/24 豊田市中心市街地一帯)

主催：ふれ愛フェスタ実行委員会

「とよたのまちから元気一発！」を合言葉に恒例の歩行者天国が開催されました。同フェスタを構成する各商店街が趣向を凝らし、まちなかの元気を発信するとともに、発表間もない新型プリウスを初めトヨタ車の展示、足助・稲武地区の特産品の販売が行われました。。



8. 市内事業所、団体への働きかけ

- ・店舗や社内のポスターの掲示
- ・パンフレットや社内報、名刺等へのロゴマークの印刷
- ・イベント、式典での横断幕、のぼり、ポスターによる会場演出
- ・プロジェクトのテーマに合わせた企画、セール、キャンペーン等



とよた元気プロジェクト 21年6月の主な動き

(1) 市民参加活動

トヨタ自動車 クリーンアップ とよた元気プロジェクトの取り組み

平成21年6月6日(土) 9:00～ 豊田市内河川敷6ヶ所にて



市内13箇所「マイタウンおいでん」での啓発活動 「豊田で買う! 豊田を知る! 豊田を好きになる!」

各会場ではプロジェクトの趣旨を司会者から説明。来場者に応援を呼びかけるとともに、のぼり、横断幕、法被で場内を演出しアピール

開催日	会 場	
6/20(土)	司 会場	
6/27(土)	豊田スタジアム会場	
7/4(土)	稲武会場	足助会場
	猿投会場	下山会場
7/11(土)	IYOIYO(GAZA前)	まちなか会場(JAあいち)
	大林会場	高岡会場
	松平会場	上郷会場



(2) 消費拡大 活動

主な事例

和菓子 風外

とよた元気プロジェクト 企画商品「豊田の味詰め合わせ」



スタジアムまんじゅう、自動車もなか、もみじ衣揚げ(足助) もつ(下山) マドレーヌ(小原)をセット。3社連携企画。

トヨタ生活協同組合

「豊田が美味しい」をテーマに組合をあげて地元産品をPR。
企画商品コーナー(右写真)を設けたほか、館内放送でプロジェクトの趣旨を説明いただき応援いただいている。



レストラン メルガド

応援メニュー、企画

- ① 豊田産品を使ったメニューにロゴマーク記載
- ② 元気ロゴを提示の客に割り引き特典

はんこ屋さん21

元気プロジェクト応援販促グッズ作成

豊田スタジアム グランパス戦での 「とよた元気プロジェクトコーナー」

名古屋グランパス VS ガンバ大阪戦 7/5(日)

名古屋グランパス VS 京都サンガFC戦 7/18(土)

豊田スタジアム正面ゲート近隣に特設コーナー(WE LOVE とよたコーナー)を設け、豊田の産品、メニューの展示、販売コーナーを企画中。

低公害車普及促進事業補助金 (事業者向け) スタート

これまでの低公害車普及促進事業補助金個人向けのみだったが、事業所も対象となり、7月1日より豊田商工会議所で受付をスタートしました。